



所長の部屋



今さら聞けない病気の常識 ①新型コロナ

京都府南丹保健所長 時田 和彦

友人や家族と病気の話をしていて、「今さらこんなこと聞けない」と思ったことはありませんか？そんなあなたに、「これだけは知って欲しい」最低限の医学知識を、分かり易く解説するコーナーです。今回は新型コロナウイルス感染症(病気の正式名は COVID-19、コビッドナインティーンと読みます)について。

以前はコロナウイルスの仲間は、よくある風邪の原因のひとつ(風邪の 10~15%)として知られていました。ところが今世紀になってから、コロナウイルスの一部は SARS(サーズと読む)や MARS(マーズと読む)という、致死率の高い疾患の原因となることが分かりました。そして 2019 年 12 月に、新型コロナウイルス(ウイルスの正式名は SARS-CoV-2)の感染が始まりました。

新型コロナによる症状は、約 80%の感染者では普通の風邪と同じです。発熱、咳などの症状が数日続き、やがて改善します。臭いや味がしないだけのこともあります。それどころか全く症状がなく、検査をすると陽性だった、という場合もあるのです。

ところが、約 20%の感染者は肺炎を起こします。息苦しい、呼吸や脈拍が速い、などの症状は要注意です。さらに約 5%の感染者は重篤化します。65 歳以上の高齢者、肺疾患・腎疾患・糖尿病・高血圧・心血管疾患・肥満がある人が、重篤化しやすいとされています。致死率は 2~3%前後との報告が多いようです。

次回は、新型コロナの検査について説明します。